



2021年3月5日

各位

会社名 株式会社 京都ホテル  
代表者名 代表取締役社長 福永 法弘  
(コード：9723、東証第二部)  
問合せ先 取締役経理部長 西川 治彦  
(TEL 075-211-5111)

### 第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ

当社は、2021年3月5日開催の取締役会において、以下のとおり、第三者割当により発行される株式の募集を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

#### 1. 募集の概要

(1) 払込期日	2021年3月31日
(2) 発行新株式数	普通株式974,000株
(3) 発行価額	1株につき616円
(4) 調達資金の額	599,984,000円
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当により、以下のとおり割り当てます。 株式会社ホテルオークラ 974,000株
(6) その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく届出の効力が発生していることが条件となります。

#### 2. 募集の目的及び理由

当社は、1888年創業以来、国内でも有数の観光地である京都を地盤としたホテルとして国内外の多くのお客様をおもてなししてまいりました。

2001年には株式会社ホテルオークラより資本参加をいただき、さらに同社グループと業務提携を締結、同社グループのブランドの一角を担う会社として発展してまいりました。

しかしながら、今年度に入りましてコロナ禍の影響により売上は激減、財務内容が急激に悪化しており、ホテル業界全体が先行きを全く見通せない状況下、業績がコロナ禍以前に戻るには相当の時間を要すると考えます。

一方で事業活動を継続するため、コロナ禍の影響が継続することによる経営環境悪化に備えた運転資金の確保を必要としておりますが、これ以上財務内容を悪化させないため、安定的な資金の確保の方法として、エクイティファイナンスによる資金調達が最善の方法であると判断し、第三者割当の方法による新株の発行に向けた具体的な検討を開始いたしました。当社は、2001年来当社の経営に関与、当社の方針を深く理解するとともに、様々な形でご指導をいただいている筆頭株主でもある株式会社ホテルオークラを割当予定先候補として選定、本第三者割当増資の目的等について同社にご説明した結果、ご理解を得られたことから割当予定先として選定いたしました。

資金調達方法としては金融機関借入という手段もありますが、直ちに健全性が失われることはないものの、借入金増加による財務内容の悪化は否めないことに加え、前述の通り先行きが極めて不透明であり、返済を必要としない手段で長期安定的な資金調達を行うことを考え、借入ではなくエクイティファイナンスによる資金調達が適当であると判断いたしました。更にこの厳しい環境において、迅速かつ確実な資金調達を可能にするため、第三者割当の方法によることが、当社財務基盤の長期的な強化につながり、また割当先との更なる関係強化により確実な経営基盤の強化に繋がると判断し、当該方法によることといたしました。

### 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

#### (1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	599,984,000円
② 発行諸費用の概算額	4,350,000円
③ 差引手取概算額	595,634,000円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、登録免許税、上場関係諸費用、書類作成諸費用等となっております。

#### (2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な資金使途は以下の通りです。なお、調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理いたします。

具体的な資金使途	金額	支出予定時期
コロナ禍による経営環境悪化に備えるための運転資金	595,634,000円	2021年4月～2022年3月

近年観光立国の施策のもと多くの訪日外国人が増加し、当社業績は順調に推移してきておりましたが、昨年来のコロナ禍の影響により、2021年3月期の業績は大幅に落ち込んでおります。2021年3月期第3四半期決算においては、売上高は2,993百万円(前年同期比△62.1%)、四半期純損失が1,505百万円(前年同期は四半期純利益214百万円)となり、この結果、当第3四半期末における純資産は567百万円と極めて厳しい状況に直面しております。

今後の見通しに関しましても、ワクチンの接種なども開始され個人消費の改善が期待されるものの、抑制されている企業活動の再開や渡航条件の緩和がいつになるか、また個人・企業の消費行動が大きく変わる可能性がある中、業績がどの程度まで戻るのか、など先行きが全く見通せない状況であります。その状況下で事業活動を継続するため、コロナ禍の影響が継続することによる経営環境悪化に備えた運転資金の確保を必要としております。具体的には、人件費・仕入れ資金等の運転資金へと充当する予定となります。

### 4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当による株式発行により調達する資金は、「3. (2) 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期」に記載の通り、その全額を運転資金に充当する予定であり、これにより事業を継続することで、将来的には企業価値が向上し、既存株主の皆さまの利益拡大に繋がるものと考えており、資金使途には合理性があるものと考えております。

## 5. 発行条件等の合理性

### (1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

発行価格につきましては、本第三者割当増資に係る取締役会決議日の前営業日（2021年3月4日）から遡った1ヶ月間の東京証券取引所における当社普通株式の終値の平均値である616円（円未満切り捨て）といたしました。

上記発行価格といたしました理由は、当社は、2021年2月9日に2021年3月期第3四半期決算等を発表しており当該公表内容や、当社直近の状況を反映していることや、当社を取り巻く状況が日々変わる中で、特定の一時点を基準にせず、一定期間の平均値という平準化した株価を採用することにより、一時的な株価変動要因を排除できるため、より客観的で合理的であるものと判断し、割当予定先と協議のうえ決定いたしました。

当該処分価格は、取締役会決議日の前営業日の当社普通株式の終値612円に対するプレミアム率は0.65%、同3ヶ月間の終値平均583円（円未満切り捨て）に対するプレミアム率は5.66%、同6ヶ月間の終値平均593円（円未満切り捨て）に対するプレミアム率は3.88%であり、払込金額は、「株式の発行に係る取締役会決議の直前日の価額（直前日における売買がない場合は、当該直前日から遡った直近日の価額）に0.9を乗じた額以上の価額であること。ただし、直近日又は直前日までの価額又は売買高の状況等を勘案し、当該決議の日から払込金額を決定するために適当な期間（最長6ヶ月）を遡った日から当該決議の直前日までの間の平均の価額に0.9を乗じた額以上の価額とすることができる。」との日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」（2010年4月1日付）に準拠したものであり、割当予定先にとって特段有利なものではない、と判断いたしました。

また、上記発行価格については、当社監査役4名（うち社外監査役2名）から、日本証券業協会の上記指針に準拠したものであり、上記と同様の理由により、割当予定先に特に有利な金額には該当せず、適法である旨の意見を得ております。

### (2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資により割当予定先に割り当てる株式数は974,000株（議決権9,740個相当）であり、2020年9月30日現在の当社発行済株式数11,091,400株に対して、8.78%（2020年9月30日現在の総議決権数110,870個に対する割合は議決権ベースで8.79%）の希薄化が生じるものと認識しております。

しかしながら、割当予定先が割当株式を継続的に保有することが予定されており、割当株式が処分されることによる更なる希薄化の可能性は低いこと、また第三者割当は、割当予定先との協力関係をより盤石にすることを通じて、今後の当社経営基盤の強化や企業価値向上に資するものとして、本第三者割当増資による発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断いたしました。

## 6. 割当予定先の選定理由等

### (1) 割当予定先の概要

(2020年3月末現在(特記しているものを除く))

(1) 名 称	株式会社ホテルオークラ		
(2) 所 在 地	東京都港区虎ノ門二丁目10番4号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 荻田 敏宏		
(4) 事 業 内 容	ホテル資産の所有およびホテル事業会社の所有・管理他		
(5) 資 本 金	3,000百万円(2021年3月5日現在)		
(6) 設 立 年 月 日	1958年12月11日		
(7) 発 行 済 株 式 数	6,000,000株		
(8) 決 算 期	3月31日		
(9) 従 業 員 数	(連結) 3,857人		
(10) 主 要 取 引 先	-		
(11) 主 要 取 引 銀 行	-		
(12) 筆頭株主及び持株比率	大成建設株式会社		8.4%
(13) 当事会社間の関係			
資 本 関 係	当該会社は当社の普通株式3,289千株(29.7%)を所有しております。		
人 的 関 係	取締役3名が割当予定先と兼務しております。		
取 引 関 係	システム等使用許諾契約		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は当社の「その他の関係会社」であり、当社の関連当事者に該当いたしません。		
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
連 結 純 資 産	64,709百万円	66,261百万円	66,689百万円
連 結 総 資 産	140,487百万円	182,492百万円	170,611百万円
1株当たり連結純資産	9,937.99円	10,160.68円	10,260.09円
連 結 売 上 高	76,400百万円	77,442百万円	77,389百万円
連結経常利益又は経常損失	3,939百万円	3,623百万円	△3,987百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,579百万円	1,871百万円	1,664百万円
1株当たり連結当期純利益	429.99円	311.95円	277.48円
1株当たり配当金	50円	60円	50円

※ なお当社は、割当予定先が毎月1回、「コンプライアンス・リスク管理委員会」を開催し、潜在的なリスクの把握と予防措置、発生時の被害極小化等の対応策を検討すると共に内部統制システムの整備に向けた各種取り組みを実施し、その内容につき「経営会議」に定期的に報告するなど、職務の執行が定款や法令に適合する体制を定め、対外的な契約書にはすべて規定するなど、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係を一切遮断するための体制を整備していることを口頭にて確認しております。

これらの理由により、割当予定先並びに割当予定先の役員及び主要株主が反社会的勢力とは一切関係がないことを確認しており、その旨の確認書を株式会社東京証券取引所に提出しております。

### (2) 割当予定先を選定した理由

当社は、2001年より割当予定先に資本参加をいただき、さらに同社グループと業務提携を締結、同社グループのブランドの一角を担う会社として発展してまいりました。

しかしながら、今年度に入りまして3.(2)「調達する資金の具体的な使途」でも記述がありますようにコロナ禍の影響により売上は激減、財務内容が急激に悪化しており、ホテル業界全体が先行きを全く見通せない状況下、業績がコロナ禍以前に戻るには相当の時間を要すると考えます。

一方で事業活動を継続するため、コロナ禍の影響が継続することによる経営環境悪化に備えた運転資金の確保を必要としておりますが、これ以上財務内容を悪化させないため、安定的な資金の確保の方法として、エクイティファイナンスによる資金調達が最善の方法であると判断し、第三者割当の方法による新株の発行に向けた具体的な検討を開始いたしました。当社は、2001 年来当社の経営に関与、当社の方針を深く理解するとともに、様々な形でご指導をいただいている筆頭株主でもある株式会社ホテルオークラを割当予定先候補として選定、本第三者割当増資の目的等について同社にご説明した結果、ご理解を得られたことから割当予定先として選定いたしました。

### (3) 割当予定先の保有方針

当社は、割当予定先から第三者割当により取得する株式の保有方針について、現時点においては、短期売買目的で保有するものではなく、割当株式が早期に処分される可能性がないことを口頭で確認しております。

なお、当社は、割当予定先との間において、本第三者割当の払込期日(2021年3月31日)から2年以内に当該株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数の内容を当社に書面により報告すること、当社が当該報告内容等を東京証券取引所に報告すること、及び当該報告内容が公衆縦覧に供される旨の確約書を締結することにつき、内諾を受けております。

### (4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当予定先が本株式に係る払込金に足りる資金を有していることを割当予定先が2020年12月24日に提出した2021年3月期半期報告書における総資産額、純資産額、自己資本比率、内部留保等により確認しております。また、割当予定先からは、本株式に係る払込金額(発行価額)の総額の払込みに要する資金は、手元資金及び遊休資産売却資金にて確保される旨口頭にて報告を受けております。

## 7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前 (2020年9月30日現在)		募集後	
株式会社ホテルオークラ	29.65%	株式会社ホテルオークラ	35.33%
株式会社ニチレイ	18.11%	株式会社ニチレイ	16.64%
株式会社日本政策投資銀行	5.28%	株式会社日本政策投資銀行	4.85%
中央建物株式会社	4.65%	中央建物株式会社	4.28%
京阪ホールディングス株式会社	3.29%	京阪ホールディングス株式会社	3.02%
みずほ信託銀行株式会社	3.16%	みずほ信託銀行株式会社	2.90%
彌榮自動車株式会社	3.16%	彌榮自動車株式会社	2.90%
株式会社 Izutsu Mother	1.88%	株式会社 Izutsu Mother	1.73%
株式会社ハウスドゥ	1.56%	株式会社ハウスドゥ	1.44%
サントリー酒類株式会社	1.14%	サントリー酒類株式会社	1.04%

(注) 1. 募集前の持株比率は、2020年9月30日時点の株主名簿の株式数を基準として記載しております。

2. 募集後の持株比率は、募集前の所有株式数に本第三者割当により割り当てられる株式数を加えた株式数によって算出しております。

3. 持株比率は、小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。

## 8. 今後の見通し

現時点では、2021年3月期の業績への具体的な影響額については未定です。今後の見通しについて、業績に重大な影響を及ぼすことが明らかとなった場合には、速やかに開示いたします。

## 9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当は、① 希薄化率が 25%未満であること、② 支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第 432 条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

## 10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

### (1) 最近3年間の業績 (単体)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
単体売上高	12,715百万円	10,573百万円	9,625百万円
単体営業利益又は単体営業損失(△)	566百万円	563百万円	89百万円
単体経常利益又は単体経常損失(△)	323百万円	391百万円	△146百万円
1株当たり単体当期純利益又は 1株当たり単体当期純損失(△)	24.29円	15.72円	△27.33円
1株当たり配当金	5.00円	3.00円	3.00円
1株当たり単体純資産	209.53円	220.24円	189.90円

(注) 2018年3月期につきましては、事業年度の変更に伴い、2017年1月1日から2018年3月31日までの15ヶ月間となっております。

### (2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況 (2021年3月5日現在)

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	11,091,400株	100%
現時点の転換価額(行使価額)に おける潜在株式数	—株	—%
下限値の転換価額(行使価額)に おける潜在株式数	—株	—%
上限値の転換価額(行使価額)に おける潜在株式数	—株	—%

### (3) 最近の株価の状況

#### ① 最近3年間の状況

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
始値	840円	840円	772円
高値	1,015円	860円	778円
安値	750円	717円	525円
終値	840円	777円	590円

#### ② 最近6か月間の状況

	2020/10月	11月	12月	2021/1月	2月	3月
始値	620円	604円	576円	579円	579円	634円
高値	649円	615円	594円	583円	638円	635円
安値	590円	571円	551円	558円	575円	610円
終値	605円	575円	570円	576円	634円	612円

(注) 2021年3月の株価については、2021年3月4日までのものです。

③ 発行決議日前営業日における株価

	2021年3月4日
始 値	616 円
高 値	620 円
安 値	611 円
終 値	612 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況  
該当事項はありません。

11. 発行要項

- (1) 発行新株式数 : 当社普通株式 974,000 株
- (2) 発行価格 : 1 株につき 616 円
- (3) 発行価格の総額 : 599,984,000 円
- (4) 資本組入額 : 1 株につき 308 円
- (5) 資本組入額の総額 : 299,992,000 円
- (6) 募集方法 : 第三者割当の方法
- (7) 申込期日 : 2021年3月31日
- (8) 払込期日 : 2021年3月31日
- (9) 割当予定先及び割当株式数 : 株式会社ホテルオークラに割り当てる予定であります。
- (10) その他 : 上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件とします。

以 上